

教育懇談会（中妻地区）懇談要旨

（日 時） 平成 26 年 7 月 26 日（土）19：00～20：15
（場 所） 中妻地区公民館
（出 席 者） 中妻まちづくり協会会長外 12 名 教育委員会教育長外 5 名
（質疑応答等）

質問：平成 28 年度中妻小入学予定児童の母親である。6 人が入学予定であるが女子はうちの娘 1 名となっている。不安な面があるので他地区の小学校への転校も考えているが、どうすべきか。

回答：学校の児童への指導では男女を分け隔てるものではなく特に問題はないと考えている。他の小学校でも男女比率が偏った学年の例はあるが問題は生じていない。小規模校では縦割り班での活動が多く他学年との交流も活発であるので、女子 1 名で孤立することはないと思われる。現時点の就学児童数推計では、中妻小は複式学級になる可能性が大きいため授業でも女子が他にいない状況にはならない。学校は学級づくりを大事だと認識しており、女子 1 名の学級でも本人を含めて子どもたちが安心できる環境づくりを進めたい。

意見：低学年段階なら問題はあまりないと思うが、学年が上になれば色々と支障があると思う。他の学区への転校理由として取り扱うことも検討すべき。

回答：地区の学校へ通うことが原則であるが、家庭の事情等、止むを得ない理由により学区外の学校への通学を認める場合がある。相談させていただきたい。

質問：学力低下が問題となっており、土曜休日を再考する動きがある。小野町は既に土曜日に学校に通っているとのこと。三春町も検討し準備すべきではないか。

回答：三春町の児童生徒の学力平均値は、国、県の平均値を上回っている。土曜日の授業実施は、小学生はスポ少活動、中学生は各種大会等の日程に組み込まれており現況では難しいと考えている。実施するためには県中地区等の地区単位で取り組まないと大会等に参加できない事態も想定される。小野町の土曜日授業は実際には年間で数日程度であり、少なくとも隔週実施程度にしなければ学力向上には効果はないと思われる。なお、この件に関しては教育委員会でも情報収集に努めており先進地視察研修等も行っている。

質問：複式学級が今後増えるとのことだが、小学校の再編を進めるようになった場合には地元の考えを考慮してもらえるのか。

回答：今年度から複式学級になった沢石小以外にも、現時点の就学予定者数では 29 年度には中妻小、32 年度には中郷小にそれぞれできることが想定される。小学校の再編は地域の皆さんの意向を踏まえて対応したい。

質問：保育所の公設民営化は第1保育所のみか。

回答：当面は第1保育所だけと考えており、そこでの運営等を見定めたいうえで今後の対応について検討したい。